

平成26年8月8日  
株式会社七十七銀行

「東北6次産業化ブリッジファンド」による投資決定について  
～株式会社アグリゲート東北への投資を決定しました～

株式会社七十七銀行（頭取 氏家 照彦）と株式会社農林漁業成長産業化支援機構（代表取締役 大多和 巖）が共同出資し、山田ビジネスコンサルティング株式会社（代表取締役 増田 慶作）が運営する「東北6次産業化ブリッジファンド」は、株式会社アグリゲート東北（山形県西村山郡河北町、代表取締役 宮川 博臣）に対して695万円の出資を行うことを決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

当行は、地域活性化・6次産業化を支援するため、本ファンドの活用を含め、積極的な取組みを行ってまいります。

記

1. 当社概要

(1) 株式会社アグリゲート東北は、山形県のさくらんぼ、ラ・フランス等の果樹生産者が中心となって設立した6次産業化事業体（合弁企業）です。当社には、パートナー企業として、農産物流通事業を行う「株式会社ジャパン・アグリゲート（本社：埼玉県さいたま市）」、イタリアンレストラン等を展開する「株式会社ハミングバード・インターナショナル（本社：宮城県仙台市）」、和菓子製造業を営む「有限会社館のおおすか（本社：福島県会津若松市）」の3社が共同出資を行います。

(2) 当社は、「山形の農家の未来を考える協議会」（注）等の東北の地域生産者とともに、栽培技術と生産努力に裏付けされた高品質な農産物を産直ギフトなどの高付加価値市場に販売拡大していくことを目指しています。

今後、催事の開催やパンフレットの活用等を通じ、お客さまの声を活かし、ニーズに合わせた生産・流通を進めて行く予定です。加えて、パートナー企業との連携により、日本産の高品質農産品のアジア地域への輸出や外食メニュー・加工品の開発を行うこと等を計画しています。

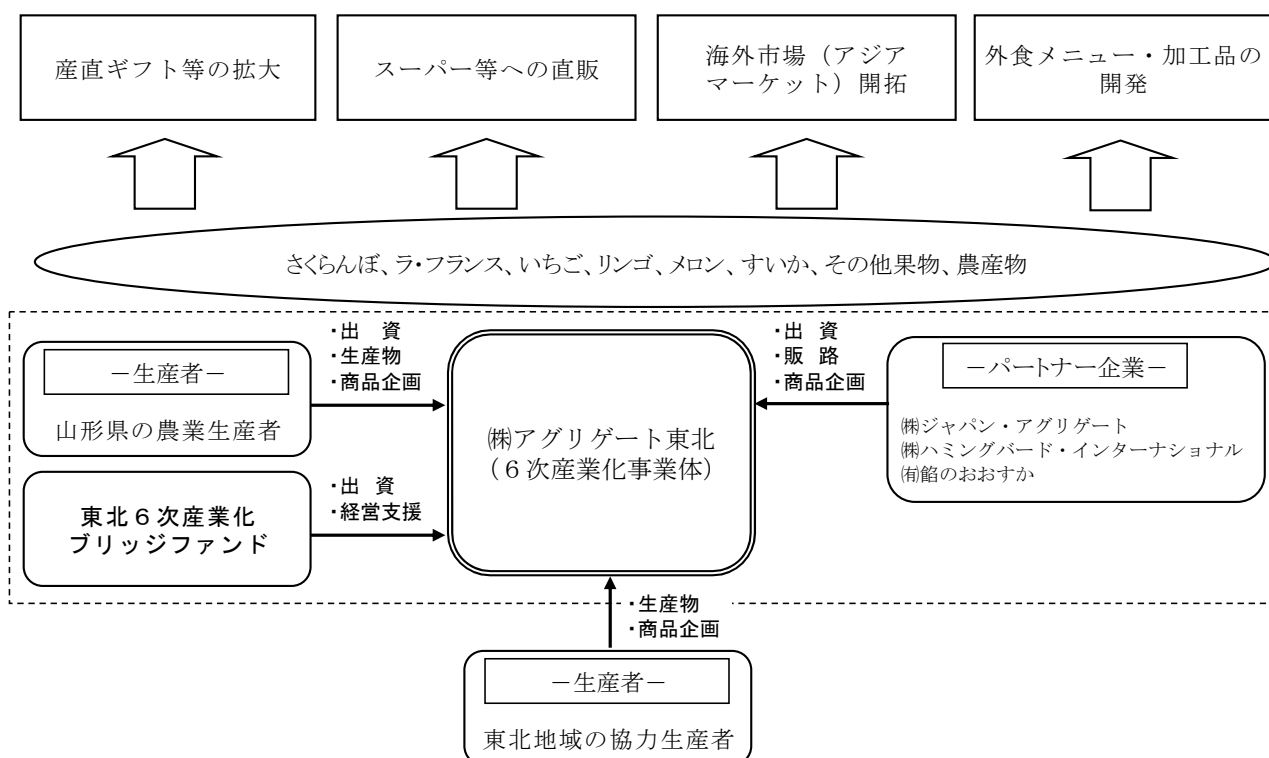
注. 山形県村山地方の20～30歳代の生産者約20名で構成される団体です。生産技術研鑽による農産物の品質向上に取り組むとともに、首都圏・海外の催事への参加等を通じて、お客様のニーズに基づいた新たなマーケット・流通を創出する活動を行っています。

(3) 当社は、今後、東北各地の産地と連携し、地域毎の特産品を供給するとともに地域の雇用拡大を進めて行く予定です。

## 2. 出資決定の理由

「東北6次産業化ブリッジファンド」は、当社の取組みが生産者主体の新流通体制構築に資するものであり、地元農産物の高付加価値市場への販路拡大、産地の育成、地域の雇用拡大等につながるものであると判断し、出資を決定したものです。

### 《スキーム図》



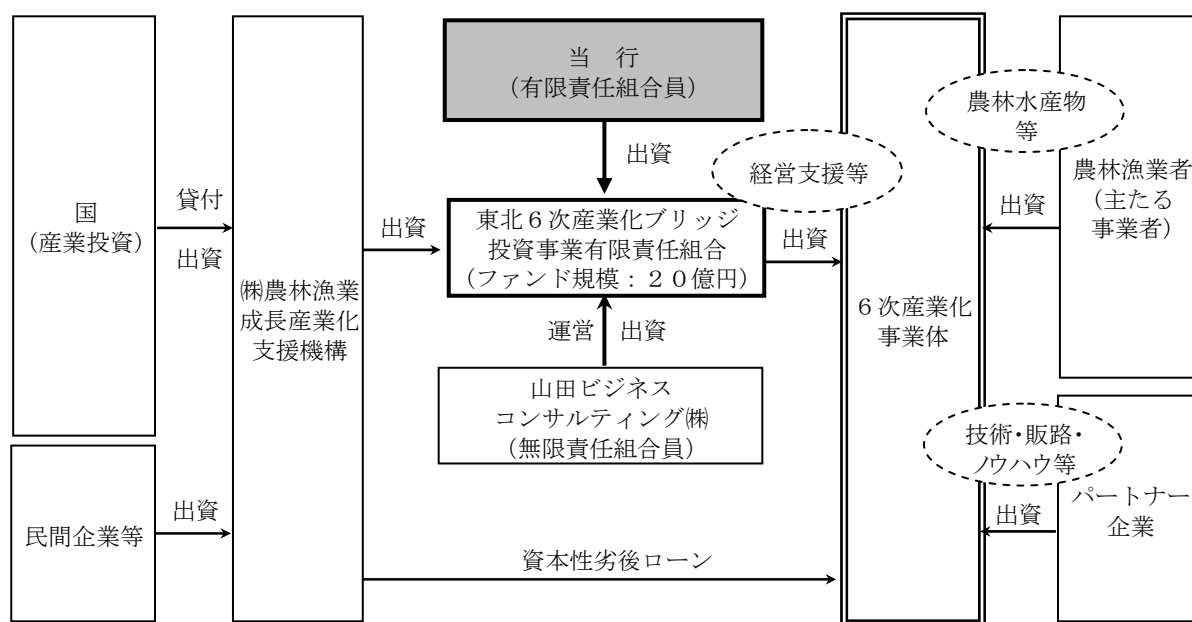
以上

(参 考)

「東北6次産業化ブリッジファンド」の概要

1. ファンド名： 東北6次産業化ブリッジファンド  
(正式名称：東北6次産業化ブリッジ投資事業有限責任組合)
2. 設 立 日： 平成25年4月25日
3. 規 模： 20億円
4. 運 営 会 社： 山田ビジネスコンサルティング株式会社 (無限責任組合員)
5. 出 資 者： 株式会社七十七銀行 (有限責任組合員)  
株式会社農林漁業成長産業化支援機構 (有限責任組合員)
6. 投 資 対 象： 農林漁業者と2次、3次産業の事業者(パートナー企業)が共同で設立する6次産業化事業体(合弁事業体)等に対して投資を行います。

《スキーム図》



以 上